

屋外活動を指導する方へ

屋外活動の計画から実施までに団体指導者が留意すべき点を以下にあげてあります。内容をよく読んで、指導時の参考にしてください。

計画時

○ 下見の実施

利用前日までに活動エリアの下見をお願いします。できれば複数の団体指導者で下見や活動の体験をお願いします。遠方などの理由で下見や体験ができない場合は、来所後、活動開始までに活動エリアの確認を必ず行っていただきます。

○ 事前指導の実施

活動のしかたや安全体制について、研修生への事前指導をお願いします。

活動前

◎ 入所者名簿（参加者名簿）を1部、事務室に提出してください。（入所時）

※ しおりに掲載されている場合は、しおりをもってそれにかえることができます。

◎ 団体指導者は、活動前（午前8時35分または午後0時30分）に事務室前で実施判断を行います。実施判断時には、緊急時の指導者連絡先や配慮事項を「屋外活動実施予定表」（P9資料2）に記入していただきます。

※ 「屋外活動実施予定表」（P9資料2）は、所員が用意します。

○ 活動参加者に次のことを指導してください。

① 交通安全

- ・ 右側又は歩道がある側を**1列**で歩く。
- ・ 地図を見ながら歩くのは危ないのでやめる。

② 地震の際の対応

- ・ 「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が発表された場合は、直ちに帰所または避難行動をとる。（焼津市の同報無線や広報車で連絡される）
- ・ 緊急地震速報発表時や地震発生時には、まず倒れそうなものから離れ、落下物から身を守る。揺れがおさまったら津波を警戒するために、住民の方に尋ねて避難場所（津波避難ビル又は避難タワー）へ避難する。

③ 活動時間の確認

- ・ 「〇時〇分を過ぎたら」と活動打ち切りの時間を設定し、それを過ぎたら「青少年の家に帰る」「〇ポイントの〇先生の所に行く」「道に迷った時には青少年の家に電話をする」など、具体的な指示を与えてから出発させる。（書きとめさせる）

④ 事故やけが、天候の急変など、非常時の対応

避難・待機先、連絡先を活動参加者と確認してください。

※ 連絡内容→参加者氏名、現在位置、傷病の程度、成人の有無、周囲の状況

- ・ 事故や大きなけがの場合
手分けをして、傷病者への対応、緊急連絡先や付近の民家や公共施設などに助けを求める。
- ・ 急に強い雨が降ってきた場合
川沿いを避け、土砂降りの場合は近くの公共施設や商店、民家に避難・待機する。
- ・ 風が強く吹いてきた場合
海に近づかない。歩行が困難な場合は近くの公共施設や商店、民家に避難・待機する。
- ・ 雷鳴が聞こえる場合
稲光が間近に見える場合、近くの公共施設や商店、民家に避難・待機する。



- 活動を続けられないようなけがや事故が起きた場合は、すぐに「青少年の家」または「団体で決めた連絡先」に電話するよう指導してください。
- 団体指導者は、緊急時の対応（指揮系統）について確認してください。それぞれ**携帯電話などの通信手段を携行してください。**

活動中

◎ 事故、体調不良やけがで緊急対応が必要な場合、青少年の家に一報！

- 天候の急変により活動の継続が難しい場合
 - ① 中止の判断を青少年の家及び活動参加者に伝える。
 - ② 本部を定め、参加者名簿（しおり）に基づいて所在の確認をする。
 - ③ 指導者ごとに役割を決定、必要に応じて団体持参または青少年の家の自動車に対応する。
 - ④ 活動参加者全員の帰着を確認し、青少年の家に帰着完了の連絡をする。
- 「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が発表された時の対応
 - ① 直ちに活動を中止し、状況により帰所または避難行動を活動参加者にとらせる。
 - ② 活動参加者全員の人員確認を行い、青少年の家と連絡をとりながら安全確保に努める。
- 緊急地震速報発表時、地震発生時の対応
 - ① 頭と体を守るなど安全を確保する。
 - ② 津波が予想されるので、揺れがおさまったら速やかに最寄りの津波避難ビルまたは避難タワーに避難し、安全が確認できたら帰所する。
- 津波警報発表時の対応
 - ① 津波避難ビル又は避難タワーへ避難する。
 - ② 避難時間が十分確保できることが確認できたら帰所する。
- 津波注意報発表時の対応
 - ① 原則、津波警報発表時に準ずるが、津波の到達予想時刻や高さから活動の継続、エリアを縮小しての活動継続を所員の情報提供をもとに団体責任者が判断する。

活動エリア内の津波避難ビルまたは避難タワーについては、各プログラムの地図又は焼津市ホームページなどを参考とすること。



津波避難ビル・タワーを示すマーク

○ 次のような、天候が急変しそうな兆候に気付いたら

危険 信号	<ul style="list-style-type: none"> ★ 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。 ★ 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。 ★ ヒヤッとした冷たい風が吹く。 ★ 大粒の雨や「ひょう」が降り出す。
----------	---

- ※ 焼津青少年の家（Tel 054-624-4675）に連絡し、今後の気象状況についての情報を入手する。
- ※ 注意報発表中の活動についても、こまめに情報を収集する。
 - ・ 早めの避難・待機を呼びかける。
 - ・ 避難、待機の現状について状況を把握する。



国土交通省防災情報提供センター
www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/

活動後

- ◎ 活動終了時は、事務室に連絡をお願いします。
- 活動終了時には、必ず人員点呼と健康観察を行う。

屋外活動実施予定表

月 日 () 午前 ・ 午後 ・ 夜

団体名			
実施予定の活動 (該当するものに○印)			
1 サイクリング	2 大漁ハイク	3 ウォークラリー	4 宝探し
5 チャレンジラリー	6 海釣り	7 キャンプファイヤー	8 軽スポーツ
○気象についての情報提供確認欄			
①警報の発令 (有 ・ 無)			
②注意報の発令 (有 ・ 無)			
警報・ 注意報の 内容			
③降雨予想【20mm/h】: (以上 ・ 未満) ※ サイクリングは1mm/h、海釣りは3mm/h			
④風の状況【平均風速10m/s】: (以上 ・ 未満) ※ 海釣り、キャンプファイヤーは6m/s			
⑤その他の状況 ()			
○活動実施の可否および実施の条件、留意点等			
○安全体制チェックリスト			
<input type="checkbox"/> 活動エリアの下見または実施前点検		<input type="checkbox"/> 団体指導者間の通信手段の確保	
<input type="checkbox"/> 参加者名簿の提出と携行		<input type="checkbox"/> 団体指導者の災害への対応確認	
<input type="checkbox"/> 交通安全指導		<input type="checkbox"/> 緊急避難ほか安全面の事前指導	
<input type="checkbox"/> 活動前中後の人員点呼の方法		<input type="checkbox"/> 活動参加者への緊急時の連絡方法指示	
団体 連絡先 指導者	氏名	携 帯 電 話 番 号	活動中の所在
配 慮 事 項 等			
		所員氏名	